

対象国の条件:

受入可能上限数: 42 名

研修コース番号:(A)J1704326/(B)J1704383/(C)J1704316

案件番号:(A)1784621/(B)1784873/(C)1784932

主分野課題:民間セクター開発/中小企業育成・裾野産業育成

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)英語/(C)露語

案件概要

特定の産業やテーマに関する企業や関連機関(大学、研究機関、業界団体)を集積・連携させ、戦略的に相乗作用を図ることで、新製品や新事業、新技術が持続的に開発される環境整備を目指すクラスターアプローチは、地域産業振興の施策として各国で取組が進んでいる。本研修は、日本や各国の事例や手法分析を通じ、クラスターの形成・運営・活動等の担当者が各地域の実情に合ったクラスターを推進するために必要な視点と手法を得るものである。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【目標】 研修員が、対象地域の実情に合った実践的かつ効果的なクラスターアプローチを習得する。</p> <p>【成果】 1. 研修員が取組むクラスター振興(政策、産業、運営、活動など)の概要と課題をまとめ、共有する。 2. クラスターに係る基本概念を理解し、各自のクラスターと比較することができる。 3. クラスター形成・運営・活動における関連機関の役割を整理することができる。 4. クラスターの活動推進に関する適切な手法やツールを選択できる。 5. 研修員自らが担当するクラスターの発展を促す提案ができる。</p>	<p>【対象組織】 クラスターの企画・運営・活動推進に携わる中央・地方政府、公的機関、民間中間組織(業界団体、商工会議所など)、大学等</p> <p>【対象人材】 クラスターの形成・運営・活動推進に従事している、もしくは従事予定の者。 類似業務経験3年以上。 研修員間や講師との討論が可能な英語力。</p>	
<p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> 自国のクラスター分析(形成主体、形成目的、構成要員、活動内容等)のレポート作成 クラスター基本的概念、クラスターの類型 クラスターの形成主体と構成要素、各種政策 結節点としての中核・推進機関及び人材(クラスターマネージャー及び連携・事業化コーディネーターの役割と機能) クラスター活動推進のための知識・手法:産学官連携手法、経営支援手法など クラスター振興のあり方・課題、研修員が今後果たす役割や活動、推進計画の作成 <p>※産業クラスターとは、関連する産業及び事業が「ブドウの房」のようにお互いが結びつくことによって、新たな相乗効果を生み出す産業・事業群の総称。相互に競争・協力しながら有機的なネットワークを形成している(進化している)産業集積の状態は、地理的に企業が集まった単なる産業集積とは区別され、特に「産業クラスター」と呼ばれ、米国の経営学者マイケル・E・ポーターが概念化した。</p> <p>※様々なパターンがあるクラスターを形成し、産業・事業群の競争力強化を図るには、対象地域の実情に合った活動及び連携や推進方法等、適切なクラスター・アプローチ(手法)が必要である。</p>	<p>本邦研修期間</p> <p>(A)2017/10/01~2017/10/31 (B)2017/09/27~2017/10/28 (C)2017/11/19~2017/12/19</p>	<p>担当課題部 産業開発・公共政策部</p>
	<p>所管国内機関</p> <p>(A)JICA北海道(札幌) / (B)JICA中部 / (C)JICA北海道(札幌)</p>	
	<p>関係省庁</p>	<p>文部科学省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2016~2018</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>(A)公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター / (B)国立大学法人 豊橋技術科学大学 / (C)調整中</p>	
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p>主に企業間連携: JICA北海道 主に産学官連携: JICA中部</p>	